

世帯

第67号

◆「他は是吾にあらず」 会長 天野 大真	2	◆平成25年度事業計画	7
◆第23期役員・理事紹介	3	◆平成25年度予算書	8
◆平成25年度第1回研修会報告	4	◆東日本大震災～あの日から～	9
◆傾聴行茶活動報告	4	◆平成25年度梅花流全国大会	10
◆平成24年度事業報告	5	◆サンタピアアップ活動報告	11
◆平成24年度収支決算報告	6	◆平成25年度正会員新入会員紹介	12
		◆年次総会報告・事務局だより	12



会長挨拶

他は是吾にあらず

第23期会長 皆傳寺 副住職
天野 大真

このたび第22期奥野秀典会長の後を受け、第23期会長の任に当たらせて頂くことになりました加美町皆傳寺副住職天野大真です。宮曹青が始まって四十余年、多くの先輩方が粉骨砕身され、宗門においてもまた一般社会に於いてもこれまで数多くの功績を築いてまいりました。また、平成21年3月の震災以来、前期の宮曹青の活動はまさに《少水よく石を穿つ》のスローガン通り、震災の悲しみと苦しみに正面から取り組んだ日々であり、常に先頭に立って皆を引っ張ってきた奥野前会長の行動力を前にして、宮曹青会長という責任の重さを改めて感じ、誠に身の引き締まる思いが致します。

さて、今期のスローガン『他は是吾にあらず』は、まさに青年僧侶の社会への取り組みを念頭に置いたものであり、実際に自らが現場へおもむき、行動を起こすことを第一義としたものであります。震災から2年を過ぎて、宗教者の復興への関わりが社会の大きな関心を寄せることとなりました。毎日のように新聞の紙面のどこかへ、復興に向けて日夜奮闘する宗教者の活動が取り上げられています。たしかに、社会的には既成仏教に対し厳しい意見もありませんが、考えてみればそれは同時に行動を期待するものであると思います。これまで宮曹青の活動は自己の研鑽と相互の懇親を深めることが大きな2本の柱でした。私自身も平成9年にはじめて事務局長として参加させていだいて以来、沢山のことを学ばせていただき、また数多くの勝友と巡り会う機会を頂戴しました。そして被災地の青年会として今後の活動を考える岐路に立った現在、前期より続く「被災された方に寄り添う支援」が宮曹青の活動の3つめの新た

な柱として新しく加わりました。当会の会則には「布教教化の推進」が重要な目的の一つとして挙げられています。布教教化が外へ向かっている行動を示すものであるのなら、復興支援活動はまさに菩薩行の実践であり、仏の教えに真摯に向き合う布教教化の道場ではないかと考えます。

『吾』とは私自身という意味に加え、我々、つまり曹洞宗の青年僧侶という意味でもあります。僧侶としての自分にしか出来ないこと、青年僧侶の団体でしか出来ないことを今期の宮曹青では考え実行して参ります。そのための方がかりとして、今期は苦しんでいる人を前にしたときに躊躇することなく行動出来る知識と勇気を身につける為の研修や事業を計画致します。同時に僧侶としての資質を高めることはもちろん、結果だけではなく、そのプロセスを自身の経験としてそれぞれの今後の人生に役立てられる事業運営を目指していきます。失敗を恐れず、労を惜しまずが青年僧侶の特質であり、それら多くの個性が作用し合い進化していく事が青年会の存在理由であると私は確信しています。

また、当会の活動をつぶさに報告させていただく手段として、今期から更にエッセイの充実を図り、きめ細かな情報発信を心がけ会員の皆様はじめ多くの方々に青年会との双方のつながりを提供させていただきまます。すでにこれまでの23期の活動が紹介されておりますので、どうかご意見ご感想などいただければ幸いです。

次に当会が主管するサンタピアアップみやぎボランティア会につきまして、20年目の節目の年となる今期、大きな2つの目標を立てさせていただきます。ひとつは4年ぶりとなるカンボジアへの新校舎贈呈、次

に20周年の記念事業の企画です。具体的な内容につきましては現在検討中ですが、震災の際に培われましたカンボジアとの心の交流のように、サンタピアアップの新しい展開を意識し、日本とカンボジア両国の素晴らしい未来を感じさせるものを考えていきたいと思えます。サンタピアアップは宮曹青の、20年前にはじめて開かれた世界への窓であり、それは常に僧侶としての布施行のあり方を考えさせる素晴らしい教師でもあります。それ故に宮曹青はこれからもサンタピアアップとともに歩み、継続して活動して参ります。そして諸先輩方が育まれた伝統を受け継ぎ、時代に即応した新しい形を模索しつつ多くの方々へ呼びかけを行っていきたくと思えます。皆様には今後とも書き損じ八ガキの提供など、サンタピアアップの活動に対しましてご支援ご協力をお願い致します。

先般とある法要に随喜させて頂いた折、退董された東堂老師が仰ったお言葉《艱難辛苦、汝を玉にする》が大変印象に残りました。震災以来、青年会にとどまらず、現在この地に生きる方お一人お一人がそれぞれ大小に関わらず取り組むべき課題や目標を新たに抱えていることと思えます。しかし、それらの艱難辛苦こそが、将来きつと実を結ぶことを信じて前に進んで行きたいと思えます。浅学非才の身ではありますが、この2年間会務に専念して参りたいと存じます。何卒今後一層のお力添えを賜りますこと切にお願い申し上げます。

末筆となりますが当会に對しまして県内外宗門寺院、並びに關係各位の更なるご指導ご法愛を賜りますことを重ねてお願い申し上げます。会長就任の挨拶とさせていただきます。

合 掌

第23期 役員・理事紹介

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会

幹事	幹事	幹事	常任幹事	顧問	交流事業副委員長	広報編集副委員長	ボランティア副委員長	研修副委員長	庶務	庶務	会計	会計	事務局	交流事業委員長	広報編集委員長	ボランティア委員長	研修委員長	監事	監事	監事	副会長	副会長	副会長	会長
伊達吉信	北村曉秀	長谷川俊昭	天野大真	奥野秀典	根本秀逸	菅原純孝	加藤道賢	井上寛尚	笠神英章	長澤信慈	渡邊桂堂	金子高幸	伊達吉信	永松泰樹	清水大伸	小枝誠智	神作紹道	岩崎芳信	二階堂法淳	鈴木俊龍	北村曉秀	坂本顕一	長谷川俊昭	天野大真
福聚院	法山寺	耕徳寺	皆傳寺	洞昌寺	金剛寺	光西寺	浄音寺	林香院	真昌寺	秀麓齋	天性寺	大雄寺	福聚院	長谷寺	慶雲院	國分尼寺	清涼寺	光岳寺	潤洞院	鳳壽寺	法山寺	建立寺	耕徳寺	皆傳寺

●全国曹洞宗青年会

四十周年記念事業

実行委員会副委員長

神作紹道

清涼寺

●教区理事紹介

第21教区	第20教区	第19教区	第18教区	第17教区	第16教区	第15教区	第14教区	第13教区	第12教区	第11教区	第10教区	第9教区	第8教区	第7教区	第6教区	第5教区	第4教区	第3教区	第2教区	第1教区
大友孝彦	森孝史	岩淵義慶	齋藤仰史	門脇正宏	三浦賢道	館寺俊明	千田道明	伊藤芳順	矢口風寛	米谷照道	北川恵得	平地博昭	武藤信明	根来賢晴	曳地徳宣	丹羽貴道	氏家隆文	楡木泰教	清野卓有	三田村秀範
清水寺	西光院	常因寺	玉泉寺	観昌寺	清涼院	津龍院	大龍寺	長林寺	祥雲寺	西雲寺	龍昌寺	養性寺	弥勒寺	法圓寺	徳藏寺	龍島院	禪龍寺	養松院	福壽院	圓福寺

(教区順敬省略)

平成25年度第1回 研修会報告

「災害時に要援護者となつて しまつた人々を考える」

平成二十五年七月十一日午後一時三十分より、仙台市新寺林香院さまを会場に宮曹青第一回研修会が正会員、賛助会員合わせ三十五名の参加にて行われました。講師は昨年度に引き続き長野県長谷寺副住職 宮下俊哉師、宮城県社会福祉協議会 北川進氏を迎え「災害時に要援護者となつてしまつた人々を考える」と題してご講演いただきました。

研修会開催に先立ち本堂で開講式を勤修し、その後、会場に移動し研修会に入りました。はじめに全国曹洞宗青年会より膝館副会長(青森県)が聴講に来られていたので挨拶を兼ねて全曹青災害復興支援部の紹介や支援部の本庁移管の経緯をお話いただきました。

引き続き宮下師から挨拶をいただき、北川氏から東日本大震災後の宮城県社会福祉協議会での活動をお話いただいた後、聴講者がグループに分かれ各グループ内で意見交換をしながら災害時だけでなく普段でも自分たちで何が出来るかを考える研修を行いました。要援護者の定義や僧侶としての強みや弱み(何が出来るか、何が行いにくいかな)等を紙に書きだしてそれぞれの認識を確認していきました。



北川氏と宮下師の共通の認識として一般的な要援護者に隠れて普段気づかれない要援護者がいて、そのような人々を援護していくのに必要なのは「気付き」であり、そのためには普段のコミュニケーションが大切で、人々の繋がりが要援護者の支援になっていくということであつたように思われました。多角的な視点から見ることの大切さに「気付く」研修会でした。次回研修会は十一月を予定しております。

(研修委員長 神作紹道)



仮設住宅傾聴行茶活動報告

- ① 6月29日(土) 21名参加 寺族会・婦人会3名参加 計24名参加(多賀城市内)
- ② 7月5日(金) 20名参加 寺族会・婦人会3名参加 計23名参加(多賀城市内)
- ③ 7月21日(日) 8名参加(若林区日辺)

○主な活動内容

写経・写仏 数珠作り うちわ絵作り 絵はがき作り

○ご協力頂きました団体、特別会員様

寺族会・婦人会様 中居堂様 ホシヤマコーヒー様 ふじや千舟様

○参加した宮曹青会員の声

大変な経験をされたのにもかかわらず、明るく元気にされていて強さを感じました。笑顔で会話できたことが嬉しかった。そばに寄り添いお話を聞かせていただくことが自分自身の為になった。



傾聴行茶 活動報告

今期の宮曹青では傾聴行茶活動「仏一息」を復興支援活動の一つとして企画し取り組んでおります。ほっとひととき

仮設住宅を訪ね、物作りや写経などを共に行い、何気ない会話などしながら住民の皆様の日常生活のストレス発散と明日への活力の充電を目指し活動しております。

初めて傾聴活動に参加される会員諸師の皆様には内容把握に大変ご苦労されたようでしたが、会長、副会長様方からの確かなアドバイスを頂き、事前に会員諸師への活動内容の説明会やボランティア委員中心での説明会、準備会などを行ったことで当日はスムーズに進めることができました。

活動で使用する準備物は復興支援金からということで大変重みがあり、紙コップひとつ、クリップやコピー紙一枚にも復興支援のご援助いただいた方々の想いが込められていることに気づき、感謝し、無駄の無いように丁寧に使用させて頂いております。

「やらなければならぬ」ではなく、「やるんだ!」と思えるボランティア活動を今後も考えて企画してまいりたいと思っておりますので、皆様ご協力の程よろしく願います。

(ボランティア委員長 小枝誠智)



平成24年度 事業報告 (関連事業も含む)

●宮城県曹洞宗青年会

月 日	事 項	場 所	備 考 1	備 考 2
平成24年				
4月6日	監査会	慶雲院 (名取市)		
4月13日	役員会①	慶雲院 (名取市)		
〃	理事会①	〃		
4月19日	定例総会	ホテルニュー水戸屋 (仙台市)		47名出席
〃	合同委員会	〃		37名出席
4月27日	プレス①発行			
6月8日	役員会②	慶雲院 (名取市)		
〃	理事会②	〃		
6月12日	プレス②発行			
7月1日	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	林香院 (仙台市)		
7月5日	研修会「行茶活動の意義とこれまでの活動とこれからの活動を考える」	林香院 (仙台市)		23名出席
8月4日	会報「無聖」65号発行	慶雲院 (名取市)		
10月4日	カンボジア教育支援チャリティバザー	仙台市根白石市民センター (第21教区)	来場者212名	前日準備併せて165名出席
10月30日	役員会③	慶雲院 (名取市)		
〃	理事会③	〃		
11月6日	プレス③発行			
12月4日	役員会④	慶雲院 (名取市)		
〃	理事会④	〃		
12月11日	年次総会	ホテルニュー水戸屋 (仙台市)		42名
〃	忘年会	〃		
12月13 ~14日	カンボジアフェア	S E L V A (仙台市)		延べ23名出席
12月19日	プレス④発行			
平成25年				
1月31日	会員大会 第1部 ボランティア講演会「月を流さず」～供養の意義と僧侶の使命～	ホテルモントレ仙台	正会員・特別会員	65名
〃	会員大会 第2部 ボーリング大会	プレイボウリング	正会員・特別会員	79名
〃	会員大会 第3部 懇親会	ホテルモントレ仙台	正会員・特別会員	80名
2月6~7日	ハガキリサイクルキャンペーン	建立寺 (石巻市)		延べ28名出席
3月25日	役員会⑤	慶雲院(名取市)		
〃	理事会⑤	〃		
〃	プレス⑤発行			
3月26 ~28日	移動研修会	兵庫県・京都府		22名出席
3月31日	会報「無聖」66号発行			

※この他「三役会」「役員打合せ」を随時開催

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会 (地協)

平成24年				
4月25日	常任幹事会・定例幹事会	ホテルルイズ (盛岡市)		奥野会長、秋山副会長、事務局長
11月13日	東北地方集会「山形大会」	メトロポリタン山形 (山形市)		10名出席

●全国曹洞宗青年会 (全曹青)

平成24年				
5月24日	全国曹洞宗青年会定期総会	東京グランドホテル (宗務庁)		奥野会長、事務局長
11月30日	全国曹洞宗青年会臨時総会	東京グランドホテル (宗務庁)		奥野会長、天野副会長

平成24年度宮城県曹洞宗青年会収支決算報告

●収入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
I 会費収入	2,985,000	3,050,000	65,000	
1. 正会員	1,600,000	1,720,000	120,000	10,000円×172名
2. 賛助会員	665,000	610,000	▲55,000	5,000円×122名
3. 特別会員	720,000	720,000	0	10,000円×72団体
II 活動協力支援金	0	0	0	東日本大震災の支援金
1. 県内	0	0	0	教区青年会、県内御寺院
2. 県外	0	0	0	全国各曹青会、御寺院
3. その他	0	0	0	
III 助成金	300,000	300,000	0	宗務所より
IV 雑収入	3,858	76,178	72,320	利子、その他(前期無聖郵送代残金、梅花大会謝礼)
V 繰越金	3,991,142	3,991,142	0	
VI 繰入金	0	0	0	
1. ボランティア基金	0	0	0	復興支援活動に充当
2. 特別事業準備金	0	0	0	会務運営・復興支援活動に充当
合計	7,280,000	7,417,320	137,320	

●支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
I 会議費	260,000	206,100	▲53,900	
1. 総会費	100,000	86,100	▲13,900	定例総会、年次総会
2. 理事会費	25,000	25,000	0	会場費
3. 役員会費	35,000	35,000	0	会場費
4. 委員会費	100,000	60,000	▲40,000	委員会・事務局会開催費
II 事務費	1,250,000	903,967	▲346,033	
1. 消耗品費	100,000	8,490	▲91,510	事務用品、用紙代等
2. 通信費	600,000	389,087	▲210,913	郵送料、振込手数料、電話料、HP基本料金
3. 印刷費	150,000	127,110	▲22,890	封筒印刷、プリンタインク代補助等
4. 備品費	150,000	150,000	0	ソフトウェア代、事務機使用料
5. 慶弔費	50,000	29,280	▲20,720	慶弔電報等
6. 事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III 事業費	2,450,000	1,858,099	▲591,901	
1. 研修委員会費	300,000	213,885	▲86,115	研修会×2回(2回目はボランティア講演会)、移動研修
2. ボランティア委員会	200,000	196,540	▲3,460	チャリティーバザー、ボランティア講演会
3. 広報編集委員会	900,000	807,500	▲92,500	『無聖』65号66号発行 HP管理補助
4. 交流事業委員会	100,000	50,674	▲49,326	会員大会
5. 教化費	300,000	0	▲300,000	
6. 事業諸費	200,000	180,000	▲20,000	旅費補助(全曹青・地協会議参加者)等
7. 会員名簿作成費	450,000	409,500	▲40,500	第22期会員名簿作成
IV 復興支援活動費	0	0	0	特別会計新設により支出なし
V 負担金	150,000	135,000	▲15,000	全曹青・地協会費
VI 予備費	551,205	0	▲551,205	
VII 雑費	200,000	88,799	▲111,201	渉外活動費、各会議茶菓等
VIII 繰出金	2,418,795	2,918,795	500,000	
ボランティア基金	100,000	100,000	0	ボランティア基金に繰り出し
特別事業準備金	200,000	700,000	500,000	特別事業準備金に繰り出し
復興支援活動金	2,118,795	2,118,795	0	復興支援活動金(新設)に繰り出し
合計	7,280,000	6,110,760	▲1,169,240	

■特別会計決算書

ボランティア基金 1,050,179円

特別事業準備金 3,801,528円

復興支援活動金 1,712,991円

総収入 7,417,320円
総支出 6,110,760円
差引 1,306,560円

平成24年度の決算書を上記の通り提出致します。

平成25年4月23日 会長 奥野 秀典 ㊟

監査報告 平成25年4月8日、4教区慶雲院様において監査を行い、
平成24年度一般会計が正確であることを確認いたします。

監事 根来 興宣 ㊟

監事 本田 賢也 ㊟

監事 岩崎 芳信 ㊟

平成25年度 事業計画

●宮城県曹洞宗青年会

月 日	事 項	場 所	備 考
平成25年			
4月8日	監査会	慶雲院	
4月9日	理事会①	慶雲院	
4月23日	定例総会	ホテルニュー水戸屋	
5月28日 ～30日	全国梅花大会	グランディ・21	宗務庁主催
6月14日	理事会②	福聚院	
6月30日	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	國分尼寺	サンタピアップ関係
7月11日	第1回研修会	林香院	
8月上旬	「無聖」67号発行		
9月17日	カンボジア教育支援チャリティバザー	村田町中央公民館	(5教区)
10月上旬	理事会③	福聚院	
11月	第2回研修会	未定	
12月上旬	理事会④	福聚院	
12月中旬	忘年会	未定	
平成26年			
1月下旬	会員大会	未定	
2月中旬	ハガキリサイクルキャンペーン	未定	サンタピアップ関係
3月中旬	理事会⑤	福聚院	
3月下旬	「無聖」68号発行		
未定	カンボジアフェア	未定	サンタピアップ関係
未定	カンボジア新校舎贈呈式	未定	サンタピアップ関係

※復興関連事業は被災地の事情等を考慮し適宜開催
 ※役員会・各委員会・事務局会は適宜開催

●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会（地協）

平成25年			
4月4日	常任幹事会・定例幹事会	会津若松ワシントンホテル	
11月19日	東北地方集會	郡山ビューホテルアネックス	

●全国曹洞宗青年会（全曹青）

平成25年			
5月14日	全国曹洞宗青年会総会	東京グランドホテル（宗務庁）	

平成25年度宮城県曹洞宗青年会予算書

●収入の部

単位：円

項目	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
I 会費収入	2,950,000	2,985,000	▲ 35,000	
1. 正会員	1,610,000	1,600,000	10,000	10,000円×161名
2. 賛助会員	610,000	665,000	▲ 55,000	5,000円×122名
3. 特別会員	730,000	720,000	10,000	10,000円×73団体
II 助成金	300,000	300,000	0	宗務所より
III 雑収入	3,440	3,858	▲ 418	利子、その他
IV 繰越金	1,306,560	3,991,142	▲ 2,684,582	
合計	4,560,000	7,280,000	▲ 2,720,000	

●支出の部

単位：円

項目	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
I 会議費	210,000	260,000	▲ 50,000	
1. 総会費	50,000	100,000	▲ 50,000	定例総会、年次総会
2. 理事会費	25,000	25,000	0	会場費
3. 役員会費	35,000	35,000	0	会場費
4. 委員会費	100,000	100,000	0	委員会・事務局会開催費
II 事務費	1,250,000	1,250,000	0	
1. 消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品、用紙代等
2. 通信費	600,000	600,000	0	郵送料、振込手数料、電話料、HP基本料金
3. 印刷費	150,000	150,000	0	封筒印刷、プリンタインク代補助等
4. 備品費	150,000	150,000	0	ソフトウェア代、事務機使用料
5. 慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔電報等
6. 事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III 事業費	2,100,000	2,450,000	▲ 350,000	
1. 研修委員会費	300,000	300,000	0	研修会×2回（2回目はボランティア講演会）、移動研修
2. ボランティア委員会	200,000	200,000	0	チャリティーバザー、ボランティア講演会
3. 広報編集委員会	700,000	900,000	▲ 200,000	『無聖』65号66号発行 HP管理補助
4. 交流事業委員会	100,000	100,000	0	会員大会
5. 教化費	150,000	300,000	▲ 150,000	
6. 事業諸費	200,000	200,000	0	旅費補助（全曹青・地協会議参加者）等
7. 会員名簿作成費	450,000	450,000	0	第22期会員名簿作成
IV 復興支援活動費	230,000	150,000	80,000	特別会計新設により支出なし
VI 予備費	450,000	551,205	▲ 101,205	
VII 雑費	120,000	200,000	▲ 80,000	渉外活動費、各会議茶菓等
VIII 繰出金	200,000	2,418,795	▲ 2,218,795	
ボランティア基金	100,000	100,000	0	ボランティア基金に繰り出し
特別事業準備金	100,000	200,000	▲ 100,000	特別事業準備金に繰り出し
復興支援活動金	0	2,118,795	▲ 2,118,795	復興支援活動金(新設)に繰り出し
合計	4,560,000	7,280,000	▲ 2,720,000	

■特別会計予算書

ボランティア基金	1,150,179円
特別事業準備金	3,901,528円
復興支援活動金	1,712,991円

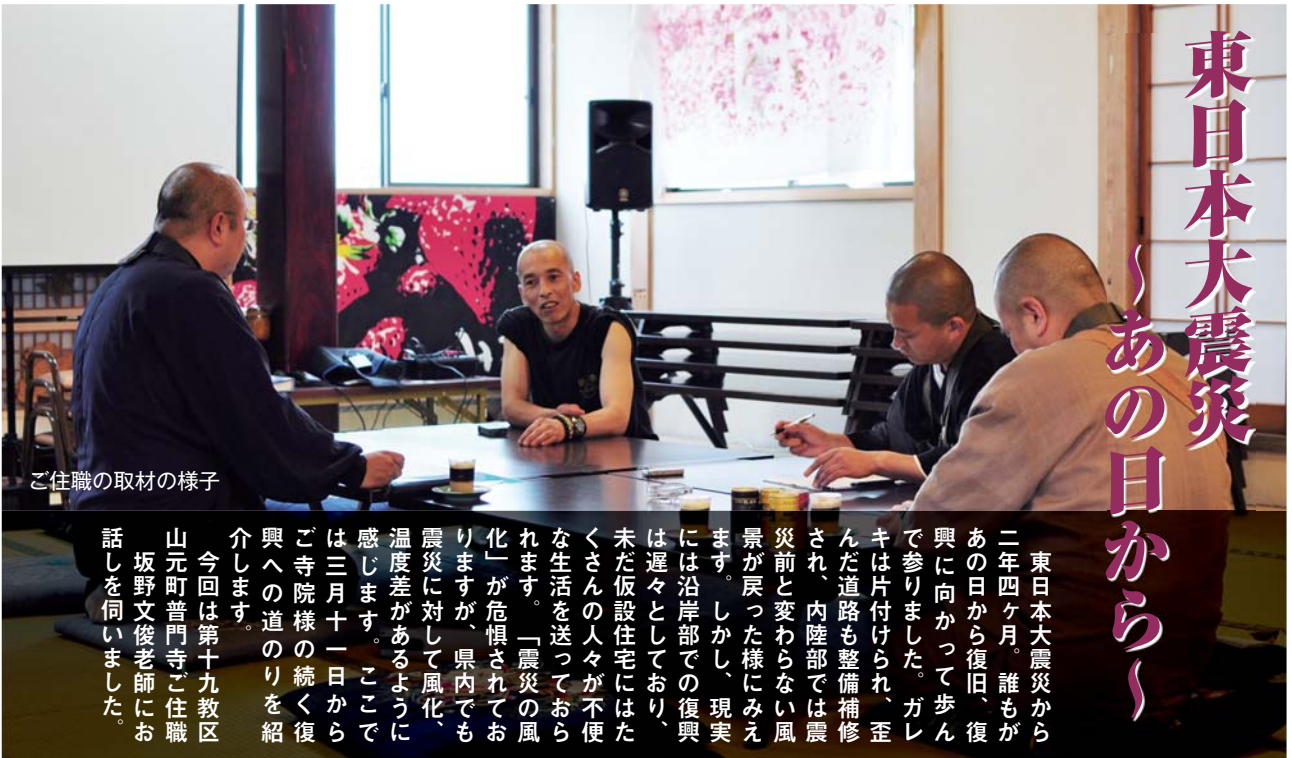
総収入	4,560,000円
総支出	4,560,000円
差引	0円

平成25年度の特別会計予算書を上記の通り提出致します。

平成25年4月23日 会長 天野 大真 ㊞

東日本大震災

あの日から



ご住職の取材の様子

東日本大震災から二年四ヶ月。誰もがあの日から復旧、復興に向かって歩んで参りました。ガレキは片付けられ、歪んだ道路も整備補修され、内陸部では震災前と変わらない風景が戻った様にみえます。しかし、現実には沿岸部での復興は遅々としており、未だ仮設住宅にはたくさんの人々が不慣れた生活を送っております。「震災の風化」が危惧されておりますが、県内でも震災に対して風化、温度差があるように感じます。ここでは三月十一日からご寺院様の続く復興への道のりを紹介いたします。

今回は第十九教区山元町普門寺ご住職坂野文俊老師にお話しを伺いました。

震災前の状況

この地域は元々農村でしたが山下駅が開設されたのを境に温暖な気候もあって定年後に移住する方が増えてきておりました。以前の寺は本堂しかない状況でしたが二〇年かけて寺領整備事業を進め、平成二十二年に庫裡が完成し残す事業としては晋山式のみだった折りに震災となりました。

大震災 大津波

本堂はじめ建物の流出はかろうじて逃れましたが、ガレキ、土砂で一面が埋まり、所々柱は無くなり壁も抜け甚大な被害がありました。また墓地の多くが倒壊し遺骨が砂とともに流出してしまいました。檀家さんの家も多くが倒壊流出し六十名近くの方が犠牲にられました。

寺の復旧

震災直後は亡くなられた檀家さんの葬儀ご供養の合間に寺の片付けをしておりましたが、あまりにも被害が大きすぎて無力感から泣きながら一人でガレキを片付けておりました。

四月には寺の役員会を開き行政に依頼し建物すべてを解体することが決定しました。自分としては納得がいかなかったが、



普門寺震災後の写真

せめてお盆には檀家さんがお参りできるようにと倒れた墓石を戻し、墓地通路に流れた遺骨が混在した砂を一人で片付け始めました。その頃に宮曹青はじめ全国の青年会のたくさんの方にボランティアにきて頂きました。その様子を檀家さんたちが見ていてその頃から役員さんの気持ちが変わっていきました。いつの間にか解体する計画はなくなり、本堂を直し、寺を再生する方針が変わっていききました。

被災したこの地の人たちは何もかも無くし、この地に残る希望がなかったと思います。最後に残ったのは先祖が残っていた寺であった。「寺、墓がある」それがこの住民の希望になったらと思いい、ひたすら復旧復興に向けて邁進しました。

「テラセン」の開設

震災当初この地域は立ち入り

禁止区域で遅々として復旧がすすみませんでした。七月までに来て頂いたボランティアは青年会と他に数名程度でした。その中の一人に藤本さん（介護士をされてる一般の方）がおりました。彼がブログなどで情報を発信したおかげで全国からボランティアの方が来て頂けるようになりました。寺の復旧だけに目を向けておりましたが藤本さんが近所のお宅に手伝いに行く姿を見て、寺だけではなく地域のために活動しなければならぬと気付かされボランティアセンター「テラセン」を開設しました。

メンバーは住職とセンター長の藤本さんの二人のみです。後は全国各地にいるボランティアチームで構成されます。住民の方から要望があれば何でもお手伝いします。「何でも屋」です（笑）。

今日も被災宅のイグネ（防風林）を刈りに皆行っております。切った木はベンチなどに再利用して、ただ捨てる事などないよう住んでいた方の思いを大切にしております。

みんなの思いが詰まった寺

自宅解体、片付けボランティアに伺った際「住民の思い」を



本年五月に 晋山結制を修行

当初は晋山結制など考えてもいませんでした。しかしこの地域住民の未来が見いだせない現状を考え「寺が地域復興の希望となったら」という思いと、再建に携わって頂いたすべての人に「ここまで復興しました」と

残せればと思いい、欄間、床柱などを寺の再建で利用させて頂きました。本堂の傷だらけだった柱もたくさんさんのボランティアの方々に磨いて頂きました。その光景は今でも目に焼き付いています。「皆の思い」が詰まった「重い寺」になりました（笑）。

これからの復興に向けて

知ってもらいたい感謝をしたかった。わがままを言って教区寺院様をはじめ、たくさんの方に迷惑をお掛けする事にはなりませんが、出席した檀家さんのあの笑顔は震災前でも見た事ありませんでした。結果として修行して良かったと思っております。

現在は「テラセン」に集う全国からのボランティア団体の支援を得て様々な活動をしておりませんが、今後は被災者の精神面のケアが重要だと感じております。被災者間の格差が生じてきており妬みや不安が広がっております。また戻ってきた住民は震災前の半分しかおらず、バラバラの状態です。今後住民が自分たちで町を創っていただける様にコミュニティ再生の繋ぎ役となればと「みんなの図書館プロジェクト」等を介し住民が集う場所を提供し、地域を引っ張るリーダーを育成しております。寺が地域ボランティアの拠点となればと考えております。



現在の普門寺様

青年会に対して

青年会の皆様にはこの寺、地域の奇跡のきっかけを頂いたと感謝しております。あの時期に青年僧が八十名近くボランティアに来て頂きひたすら砂を片付ける様子はこの地域の人々にどれだけ勇気を与えたか計り知れません。墓をきれいにしして頂いたからこそ、檀家さんはお墓を直し、この寺を再生し、この地に戻って来る気持ちになったのです。言葉だけではなく「行動」することでお互いに訴えることができると思います。今後、起こりうる有事に備え各曹青年会や団体と連携し、青年会だから出来るボランティアを是非お願いします。

平成二十五年 度梅花流全国大会

去る平成二十五年五月二十九・三十日「平成二十五年 度梅花流全国大会」が宮城県利府町にある「グランデイ21」にて開催され（宗務庁主催）宮曹青は運営スタッフとして大会に随喜させて頂きました。二日間併せて一万千人を超える講員が全国から集結し会場は熱気に包まれました。

また今大会では「東日本震災被災物故者三回忌法要」も菅長猥下御親修のもと修行されました。



梅花流全国奉詠大会会場の様子



マスコットキャラクター

学びのこぼれ 輝く笑顔 カンボジア教育支援 サンタピアップみやぎ ボランティア会 報告



創立二十周年



今年度サンタピアップは創立より二十年を迎えます。これまでの多くの皆様よりの温かい長きご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

当会としては、この節目を期にさらに広く皆様に広報致したく、周年特別事業を企画中です。

平成二十五年度「定例総会」報告

去る六月三十日(日)午後三時より国分尼寺様(仙台市新寺)を会場に、平成二十五年度「定例総会」と「創立二十周年記念講演」が開催されました。

講演会では講師として「社団法人シャンティ国際ボランティア会」常務理事・市川齊氏をお招きし、「カンボジアの教育支援の現状と今後」と題してお話をいただきました。当日は三十二名ご出席のもと、当会の活動意義について改めて考え確認し、各々の意識の向上を図りました。

本年度の事業としては、これまでの書き損じハガキ・切手収集、古本リサイクル事業などのほか、学校建設・周年事業などを展開してまいります。

「小学校建設地」決定!

皆様からお寄せ頂いた書き損じハガキ・未使用の切手・支援金をもとに、通算十七校目となる小学校を建設させて頂くことになりました。建設地は、テピアロン小学校(カンボジア王国バットタンバン州トマー・コール郡チュレイ集合村アンロン・ロン村)となります。



あの頃、大切にしていたこの本を
もう一度役立たせたい・・・
私たちにお譲り下さい

「古本・CDリサイクル」による支援

●皆様のご家庭にある、漫画や文庫本・CD等の買い取りを『BOOKOFF(ブックオフ)』の※宅本便(無料集荷)を利用し、インターネット上で依頼してご提供頂きます。

●ご提供商品の集荷をご依頼する際、商品の買い取り額の入金先口座を当会の口座に指定することで、当会への寄付(支援)金となります。

●ご提供下さった方には、後日お礼状と領収証を発送させていただきますので、お手数ですが当会事務局宛まで電子メール又は、お電話にてご提供者さまの発送情報をお知らせ下さい。

◎ご提供下さいます方は、インターネットで「ブックオフ宅本便」で検索・ご依頼下さいますようお願い致します。

指定口座 『ゆうちょ銀行』

【記号】 18110 【口座番号】 05490731

【名義】 サンタピアップみやぎボランティア会

一枚のハガキや切手が支えます

■書き損じハガキの送り先

〒九八六〇一九九 石巻市相野(谷字五味前二番七) 河北郵便局留「サンタピアップ」宛

■支援金の送り先

郵便振替口座

名義 サンタピアップみやぎボランティア会
口座番号 0229016148744

■ホームページ更新(二十五年度版)

http://www.santapi.com/

■サンタピアップ事務局

〒九八六〇三〇三

石巻市桃生町永井字仁田森 三三浄音寺内

TEL/FAX 0225-79-3003 (専用)

E-mail: info@santapi.com

事務局長 加藤 道賢

平成二十五年年度正会員新入会員紹介

- ・ 4 教区 高林寺副住 牧野隆信
- ・ 9 教区 石雲寺徒弟 宮本貴心
- ・ 13 教区 照源寺副住 三宅大哲
- ・ 14 教区 冷松寺徒弟 大崎真人
- ・ 15 教区 金秀寺副住 酒井禅悦
- ・ 17 教区 城皇寺住職 氏家栄宏

宮曹青正会員卒業の方々

- ・ 1 教区 松源寺住職 東海泰典
- ・ 1 教区 向泉寺副住 秋山公純
- ・ 2 教区 林香院住職 門脇昌文
- ・ 2 教区 全玖院住職 宇野慎哉
- ・ 4 教区 耕龍寺住職 清水了祐
- ・ 8 教区 正来院住職 小野崎孝道
- ・ 13 教区 陽山寺住職 藤澤智洋
- ・ 14 教区 昌学寺住職 南浦洋州
- ・ 16 教区 仙翁寺住職 平塚兼伸
- ・ 16 教区 峯仙寺副住 千葉坦自
- ・ 20 教区 梅林寺住職 佐々木憲道

事務局便り

平成25年度定例総会並びに合同委員会報告

去る4月23日(火)午後2時より、ホテルニュー水戸屋において「平成25年度定例総会」が開催されました。初めに副会長秋山公純師より開会宣言、第22期会長奥野秀典師より挨拶があり、続いて事務局から定足数を満たす計119名(出席者59名、委任状60通)により今総会の成立が報告されました。議長には第3教区吉田義弘師が選出され、議長進行のもと次の議案について審議され、全て承認されました。終わりに副会長北村暁秀師の閉会宣言を以って無事終了いたしました。



審議事項

- ①平成24年度事業報告
- ②平成24年度収支決算報告・監査報告
- ③平成24年度東日本大震災復興支援活動報告並びに決算報告
- ④第23期役員選出について
- ⑤平成25年度事業計画(案)
- ⑤平成25年度予算(案)

総会終了後、引き続き同所に於いて「合同委員会」が開催され、会長より役員・委員へ委嘱状が交付されました。その後、各委員会に分かれ本年度の各委員会事業について打合せが行われました。

カンボジア教育支援

第19回チャリティバザー開催のお知らせ

日時…平成25年9月17日(火)午後1時～販売場所…柴田郡村田町村田西田28

村田町中央公民館

今年も会員皆様のご参加・物品提供ご協力をお願いします!

編集後記

今期の広報編集委員会ではホームページをリニューアルしてサイトの拡充に取り組んでおります。記事を投稿形式に変更し活動予定、報告を速やかに伝える様、務めております。

現在はスマートフォン等の普及により誰でもインターネットから容易に情報を得ることが出来る時代です。ツイッター、フェイスブックに代表されるSNSもありますが、まずは会の顔となるホームページを充実させ、時代に即した広報活動を目指し運営したく存じます。ぜひ一度ご覧賜りまして、要望がありましたら事務局までメールにてご連絡下さい。

(広報編集委員長 清水大伸)



表紙写真
傾聴行茶
活動の様子



無聖 第67号 (平成25年8月1日発行)

表紙題字 宗務所長 三宅良憲 老師
編集 宮城県曹洞宗青年会
発行人 天野大真
事務局 仙台市太白区門前町8-22 福聚院内
TEL・FAX 022-308-0043(専用)
U R L http://www.miya-sousei.com
e-mail info@miya-sousei.com

ホームページリニューアルしました

ホームページはこちら 宮曹青

検索